



講座のご案内

2019年3月号 電話
ファックス 048-866-9466

講座へはどなたでも参加ができます。ご友人や近隣の方とお誘いあってお申込みください。

学習会「差別のない社会をつくろう」

「人種差別政党」が2019年統一地方選挙に進出

3月16日(土) 午後2時～4時

■場 所：生活クラブ生協本部 ※駐車場なし
(JR 埼京線「中浦和」駅下車 徒歩3分)

■参加費：1,000円 (テキスト代金をふくむ)
『社会運動 432号』をお持ちの方は500円

■講 師：白井和宏さん (『社会運動』編集長)

「慰安婦」問題の合意破棄や、徴用工に対する韓国最高裁判決、さらには韓国海軍レーダー照射などをめぐり日韓関係が急速に悪化しています。しかも対立は政治レベルにとどまりません。日本では在日コリアンに嫌がらせを繰り返している人種差別団体・日本第一党が統一地方選挙に立候補を予定。「ヘイトスピーチ抑止法や条例を作った人間を、必ず木の上からぶら下げる」と主張しています。



他方、韓国では親日派の朴元淳ソウル市長・市議会が日本製品の不買を検討。また、一般市民や生協関係者の間にも「平和少女像」の建設運動が広がっています。

いま、日本と韓国で何が起きているのか。日韓関係を改善するため私たちは何をすべきなのか、一緒に考えましょう。

←当日テキストの『社会運動』432号

相続法の改正ポイントを学ぶ

～遺言書は愛する家族を守る～

3月20日(水) 午後1時30分～3時30分

人生の終わりをより良いものにするために、元気なうちにできるだけ準備しておくこと。それが終活であり、そのうちのひとつである相続対策も重要になります。平成30年7月の相続法の改正により、現在の相続制度はどうなっているのか？準備できることは何かなど正しい知識を学んで、今できることを準備しておきましょう。遺言書の書き方も体験します。

【定員15名】

◆当日の内容 (予定)

- ・相続人は誰ですか？ ・遺言は必要ですか？
- ・配偶者保護法 ・相続人以外の貢献を考慮
- ・遺言書が変わる ・争族にならないために



■場 所：生活クラブ生協本部 ※駐車場なし
(JR 埼京線「中浦和」駅下車徒歩3分)

■講 師：松島明子さん (行政書士、女性のための相続相談室、志木支部組合員)

■参加費：1,500円

見沼田んぼを歩く 春の草花を鑑賞しながら♪



4月16日(火) 午前9時30分集合

JR 武蔵野線 東浦和駅 改札をでたところ

路線バスに乗るので小銭やSuicaの用意を！ (260円)

首都圏近郊にある広大な緑地・見沼田んぼに、春の草花がいっせいに芽吹く時期です。牡丹の寺「総持院」を出発し、見沼田んぼの歴史や民話の語りを聞きながら草花を観察し「旧坂東家住宅」まで歩きます (ここで花見弁当の昼食タイム)。その後大宮駅や東浦和駅へ行くバス停まで向かい、14時半頃解散です。歩行距離は約2.5km。

【定員15名】

- 案内人：伊藤静子さん (見沼田んぼ地域ガイドクラブ)
- 参加費：3,000円 ※ガイド料、保険代、昼食代込み

お江戸オノポリさんぽ 時代小説の舞台 深川寺町を歩く

4月24日(水) 午前9時50分集合

地下鉄東西線「門前仲町」6番出口 赤札堂前

深川には寺や橋、堀などが多く、時代小説の舞台になっている場所もたくさんあります。また最近ではオシャレなカフェが集まり「コーヒーの聖地」としても注目されています。今回のツアーでは、ガイドさんの解説を聞きながら寺社を巡り、深川江戸資料館 (写真) で実寸大に再現された江戸の街並みと長屋で暮らす庶民の生活を体感します。昼食後、午後2時頃に解散の予定です。【定員15名】

■案内人：江東区文化観光ガイド

■参加費：4,000円

※ガイド料、保険代、昼食代、資料館入館料込み



報告

老後について考える学習会

「幸せな老後を迎えるために必要なこと」

大人の学校では、季刊『社会運動』の冊子をテキストに定期的に学習会を開催しています。これまで、「貧困」「ワクチン」「憲法」などの問題をテーマに、『社会運動』の編集長が講師となり参加者同士で学ぶ機会をもってきました。2月8日は老後を考える学習会でした。
今回は3月16日「差別について考える」(オモテ面に詳細あり)

超高齢化社会で何が起きているのか、介護保険や介護施設の現状などを知り、今から準備できることは何かなどを学びました。

〈参加者のアンケート回答より〉

- ・ 厳しい状況がよくわかりました。共倒れにならない、介護離職しないためのノウハウも知りたいです。(KMさん)
- ・ 「1人で最期を迎える覚悟を!」「事前情報収集をおこなっておく」「フレイル状態への対応」(平塚さん)
- ・ 今の日本で老後の暮らしを真剣に考えると、どうしても暗い気持ちになる。貯金は十分ではなく、介護保険、年金などの社会保障は減り、いかに老後を乗り越えていくのか? 地域で何ができるか話し合い、行動していくことが必要だと思う。(吉田さん)
- ・ 自分たち夫婦の終の棲家をどうするか調べ始めたところです。複数の地域包括センターに足を運ぶこと、入居期限のある施設でも現場で相談が可能なことなど、参考になることが何点もありました。(新藤さん)



被災地を忘れない!

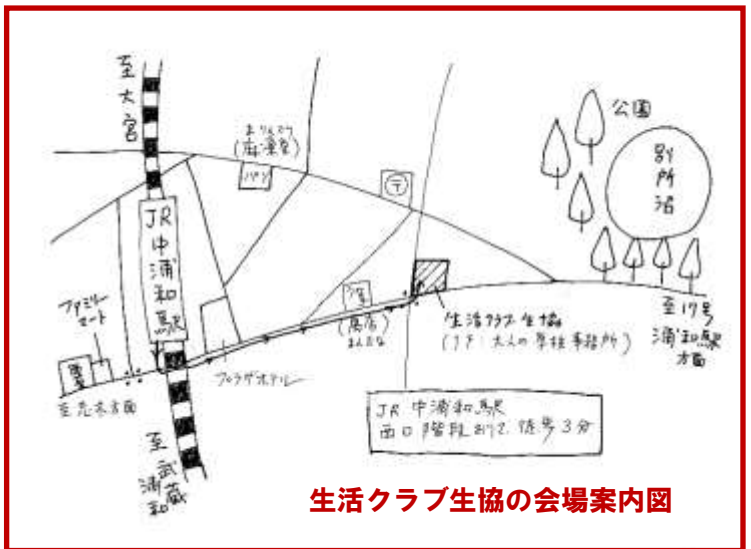
1冊の本がつなぐ応援の輪

大人の学校は、被災地を応援しています。岩手県陸前高田市立図書館の本を充実させるための寄付を継続して行っています。被災地を忘れず、つながり続けるための取り組みとして継続しています。(2019/1月現在の寄付額 22万6千円)

賛同いただける方は、生活クラブ本部1階 談話室内の大人の学校事務所まで本をお持ち下さい。



取扱いけないもの ISBNのない本、百科事典、個人出版本、マンガ、一般雑誌など。古いものや汚れているものもNGです。



生活クラブ生協の会場案内図

◆大人の学校スタッフのつぶやき◆

先日人間ドックに行ってきました。病院に電話して日程を調整したり検査の提出物を準備したり、検査の前日は飲酒がダメとか、夕飯の後は飴やガムも食べちゃいけない等々、いろいろ面倒なことはあるのですが、病院に到着して検査に着替えたら、あとはもう俗世とは切り離された時間で、一切の日常を忘れて、ほんわかのんびり半日過ごします。

利用している病院は人間ドックなどをメインにしている所なので、明るく暖かみのある雰囲気、冷暖房完備だしスタッフも全員女性。非日常空間でのんびりできて、ちょっとしたリゾートかも…と最近では思えるようになりました。後日送られて来る検査結果を見るまでは、ですが。(はむたま)



お問い合わせ先

NPO 法人 大人の学校

336-0021 さいたま市南区别所 5-1-11

電話/ファックス 048-866-9466

メール otonano-gakkou@cure.ocn.ne.jp

お電話の場合は平日の 10 時~16 時、それ以外の日時や不在の場合は留守電にご用件を録音してください。折り返しご連絡いたします。

<http://www.otonanogakkou.org/>